	事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画) 22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 30 日 作成 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成														
事務事業名			市農業	市農業委員会委員選挙事業					マニフェスト 全庁横断 集中改革 課題関連 プラン関連						
44	合]	政 策	4	みんな	『元気で笑顔	あふれるまつ	づくり	所是	禹部 選挙	管理委員会	課長名	後藤一	-男	
計体	画	7	施策	14	市民参	多画によるま7	ちづくりの推え	進	所是	属課 選挙	管理委員会	担当者名	松田	勝	
	杀	基	基本事業			づくり(まちづく		:の確保	所加	禹班 選挙	管理委員会	(内線)	1220		
	=	予算	科目	会計 1	款 2	項 目 4 1	事業連番 10342	 卡令根拠 農	業委員会等に	こ関する法律	津第9条	成果優先コスト削減値			
弁	冬了	、厚	見 始年度	·		まで終了 [22年度か	ら開始事	業期間 🗸	単年度のみ	────────────────────────────────────	繰返(開始年		左	年度) 年度)
*	★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)														
【事業の内容】 「中華の内容」 「															
	【業務の流れ】														
関会害ん	【意見や要望】 関係者(住民、議 会、事業対象者、利 害関係者等)からど かな意見や要望が 寄せられているか?														
1	現	状扌	巴握の部	(DO, P	LAN)										
			事業の目			責(21年度に	とった 土ね洋	軒/ (DO)	. 99年1	在計画7% 在	度に計画してい	/2 子わ注画	#/ (DI	ANI	
			、土/な活男 F2月14			頃(21年度に1	つに土な荷	IJ)(DO)	なし	支計画 (次年	一度に計画して	いる土な活男	Л) (PL	AN)	
ľ	,,,,		/ •		**										
			<i>∕</i>	:	ま #の	活動量を表す	KHEN OOH	· 1m							<u>.</u>
			④活動指 ⇒ ア 修			活期重を衣9:	信候)=①の指	1保	(単位) 人 イ	当選人数					(単位) 人
2	対					ろのか) * 人ぷ	き自然資源等		⑤ 対 5		の大きさを表す指	€標) =②の指	標		人 (単位)
		事	務従事者	Í						」 ア 有権者数 人					人
			/≻の事業	<i>は</i> にとって	て 対象	見をどう変える	のか)			当選人数 B.指標(音図	の法は座を事才	⊭ 趰)−②のt	台畑		
						事務の適正		まする。		⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位 ア・投票に対する苦情件数 件					(単位) 件
										事務執行で					件
*	6)	成果	!指標設	定の理問	自と平原	以22年度目標	種設定の根	拠							
L													1 1		
(2)			標•総事	業費		19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度	!		
	の	推和	多		単位	実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算		見込		4	
	(4)	活動	動指標	ア	人	21		23	21				1		
	_	1112	-941H IVI	イマ	人人	21 2860		21 2553	21 2553				▍║╻		
	(5)	対	象指標	<u>ノ</u> イ	- ^	2000		2000	2555		-			総トータノ	レコスト
	<u>(6)</u>	成上	果指標	ア	件			0					1	全体記	
	•	13/4/		イ FILLA	件			0					4 L	~	年度
		財	国庫习		千円										
	事	別源	地ブ	方債	千円								期間	ļ	
		内	その		千円								間限		
投	業	訳	繰り	∖金 財源	千円	400		5,687	270				定複	 	
入	費	()	A)事 第		千円	400 400	0	5,687	372 372		0 0	0	数	-	0
		ì	(A)のうち		千円				372				年度		
量			(A)のうち時		千円				0				のみ		
	人		E規職員従 延べ業務		人 時間	3 200		3 400	3				記れ	ļ	
	件費		延べ業務 (B)人件		時间 千円	794	0	400 1,592	400 1,592		0 0	n	載)	_	0
	1.		タルコスト()		千円	1,194	0	7,279	1,964		0 0	0	1 I		0

2	評価の部(SEE) *原則は21年度の事後評価. ただ	し複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中	□評価							
	①21年度目標達成度評価	✓達成した								
目標達成度評	事務事業の前年度実績は前年度目標値を 達成したか、未達成の場合その原因は?									
	②22年度目標達成見込み	□目標達成見込みあり⇒【理由】→	□目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 →							
価	事務事業の本年度目標値に対して本年度の 見込みはついているか?									
	③成果の向上余地	✓向上余地がある ⇒【理由】 →	□向上余地がない ⇒【理由】 ラ							
	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	永い間無投票であり、比較する指標がないので分からない								
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	一他に手段がある●(具体的な手段,事務事業)一統廃合・連携ができる→【理由】	☑他に手段がない ⇒【理由】 →							
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合がで	──統廃合・連携ができない ⇒【理由】 →								
	きるか?類似事業との連携を図ることにより、 成果の向上が期待できるか?	他に類似するものはない								
^別 率性評価	⑤事業費の削減余地	✓削減余地がある ⇒【理由】 →	□削減余地がない ⇒【理由】 つ							
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	選挙執行の為の必要経費であり、削減は難しい								
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	☑ 削減余地がある ⇒【理由】 □	□削減余地がない ⇒【理由】 →							
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でで きないか? (アウトノーシングなど)	に当たる者の責任感及び正確さ、迅速さの								
公平	⑦受益機会·費用負担の適正化余 地	□見直し余地がある ⇒【理由】 ¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬	✓公平・公正である ⇒【理由】 →							
評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公 平ではないか?受益者負担が公平・公正になっ ているか?	農業委員会等に関する法律及び公職選挙法に基づき執行する事務であり、受益者負担の考え 方はなじまない 								
役割分	⑧行政の役割分担の適正化	【□見直し余地がある ⇒【理由】 つ	▽役割分担は適正である ⇒【理由】 🞝							
担評価	事務事業のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体 に移行出来ないか?	公職選挙法による市選挙管理委員会での執行管理事務であるため移行できない。								
3	評価結果の総括(SEE) ※事	務事業全体の振り返り、成果及び反省点等	を記入							
執行上の問題も発生せず執行管理が行なえた。										
4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)										
(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (2) 改革・改善による期待成果 原止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善) (廃止・休止の場合は記入不要)										
事業のやり方改善(効率性改善)										
									(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
L										